

Access Map



枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設
 〒610-0331 京都府京田辺市田辺ボケ谷 18 番地 2

枚方市方面から

京阪電車
枚方市駅

● 京阪バス 北口4のりば

「長尾駅」「摂南大学枚方キャンパス」
 または「大塚国際大学」方面行きに乗車

長尾駅 河内峠駅

● 京阪バス

「近鉄新田辺」方面に乗り換え

京田辺市方面から

近鉄電車
新田辺駅

● 京阪バス 4番のりば

「松井山手駅」方面行きに乗車

JR
京田辺駅

● 京阪バス 交差点南側のりば

「松井山手駅」方面行きに乗車



枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設

枚方京田辺環境施設組合



【設計・施工】カナデピア・東洋建設（東洋・サンエース・野原JV）特定建設工事共同企業体
 【運営】(株)ecoフォレスト枚方京田辺
 【事業主体】枚方京田辺環境施設組合

環境に
やさしい



次世代煙突

軸となる鉄骨の外側にドーム屋根にも使われる膜材を採用した膜煙突であり、軽量性・防汚性に優れています。また、地震時の変形に追従するため、破損による二次災害を防止するなど、地震にも強い煙突です。

災害時に
頼りになる

耐震性能は病院等と同等の構造体II類で計画しており、その他さまざまな強靱化対策を施すことで、安全性を確保しています。

工場棟

管理部門エリア

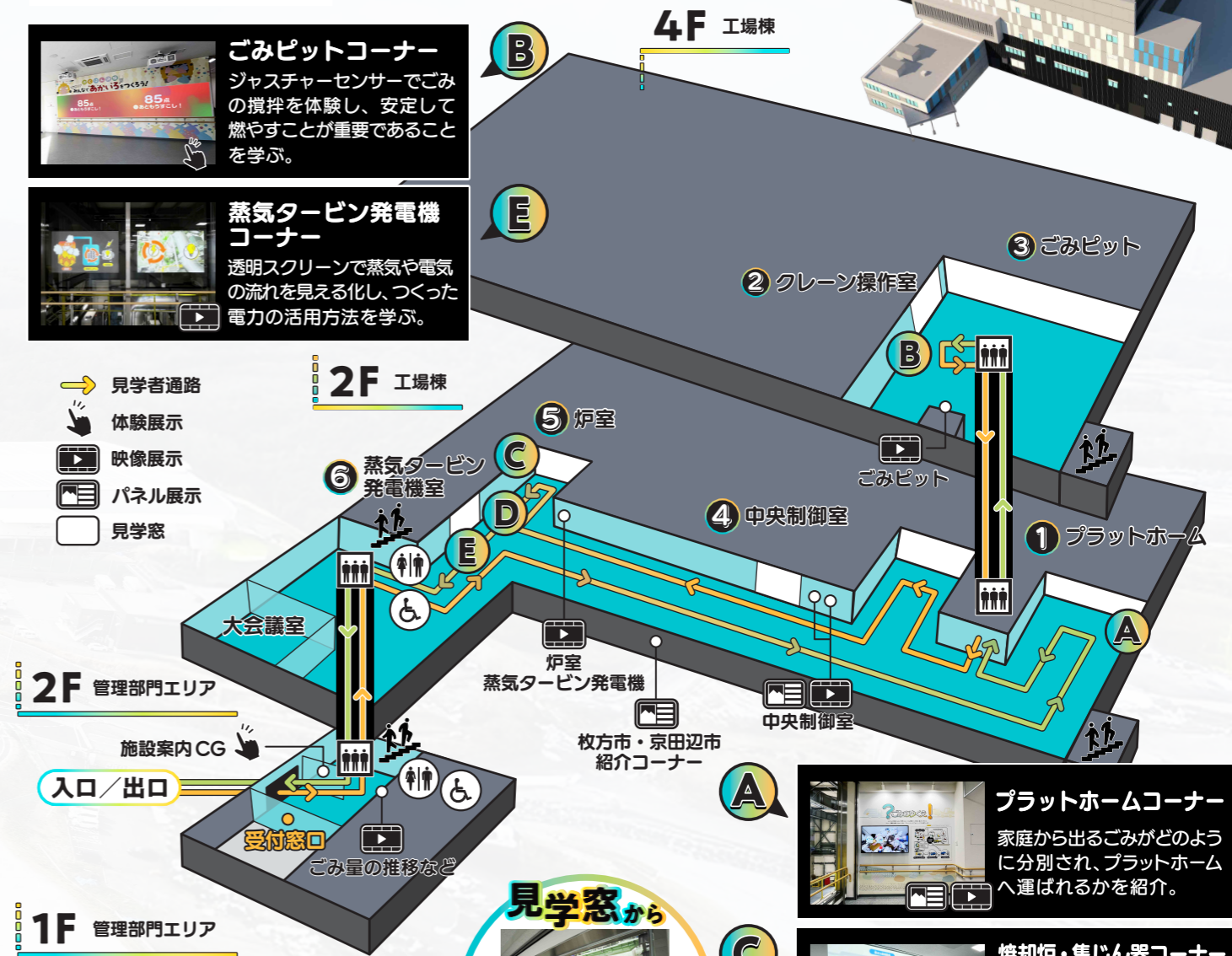
計量棟

見学者設備概要

ごみピットコーナー
ジャスターセンサーでごみの攪拌を体験し、安定して燃やすことが重要であることを学ぶ。

蒸気タービン発電機コーナー
透明スクリーンで蒸気や電気の流れを見える化し、つくった電力の活用方法を学ぶ。

見学者通路
体験展示
映像展示
パネル展示
見学窓



見学窓から
①～⑥の稼働状況を見学することができます！

管理部門エリア
ごみ量・発電量・排ガスの推移や感想レターを表示。施設外観CGを自由に操作して、見て学ぶ。

プラットフォームコーナー
家庭から出るごみがどのように分別され、プラットフォームへ運ばれるかを紹介。

焼却炉・集じん器コーナー
ごみを高温で燃やし、灰にして量を減らすしくみや煙をきれいにする工程をクイズ形式で学ぶ。

残渣コーナー
ごみを燃やしたあとの灰が運ばれ、どのように処理されるかを紹介。

枚方市と京田辺市、2つの地域の文化と歴史を継承
最新技術を駆使し新たな価値観を創造する施設

施設概要

施設名称：枚方京田辺可燃ごみ広域処理施設
所在地：京都府京田辺市田辺ボケ谷18番地2
運営開始日：2026(令和8)年3月31日

建築概要

[工場棟]
構造：SRC造+一部RC造+一部S造
階数：地上5階、地下1階
建築面積：4,253.55㎡
延床面積：8,639.73㎡
高さ：33.55m
[煙突]
内筒：鋼板製
外筒：鉄骨+金属製サイディング+膜材
高さ：100m

設備概要

処理能力：168t/日(1炉)
受入供給設備：ピット&クレーン方式
燃焼設備：ストーカ式焼却炉
燃焼ガス冷却設備：廃熱ボイラ方式
余熱利用設備：蒸気タービン発電機(定格4,870kW)
排ガス処理設備：ろ過式集じん器、有害ガス除去装置、触媒脱硝装置
電気設備：特別高圧配電線1回線受電

ごみ処理のながれ

当施設は、各家庭などから排出される一般廃棄物を受け入れ、安全に焼却処理しています。燃やしたあとに出る焼却灰や飛灰は、施設外へ運ばれ埋め立て処分されます。ごみを燃やした時に出る熱から電気をつくって、施設内で有効利用し、余った電力は電力会社に売却しています。また、ごみ処理には排ガスや水、空気、灰、薬剤などさまざまな物質が関係しています。これらをしっかり管理することで、安心・安全な運転を続けています。

Q. 排ガスのゆくえは？
煙突を通過して出ていく

Q. なにをしている？
発電
つくった電気は…

有効活用している！

ばいじん	0.01g/m ³ N
塩化水素【HCl】	10ppm
硫黄酸化物【SOx】	10ppm
窒素酸化物【NOx】	20ppm
水銀	30μg/m ³ N
ダイオキシン類【DXN _s 】	0.05 ng-TEQ/m ³ N

表中の数値はすべて酸素濃度12%換算値

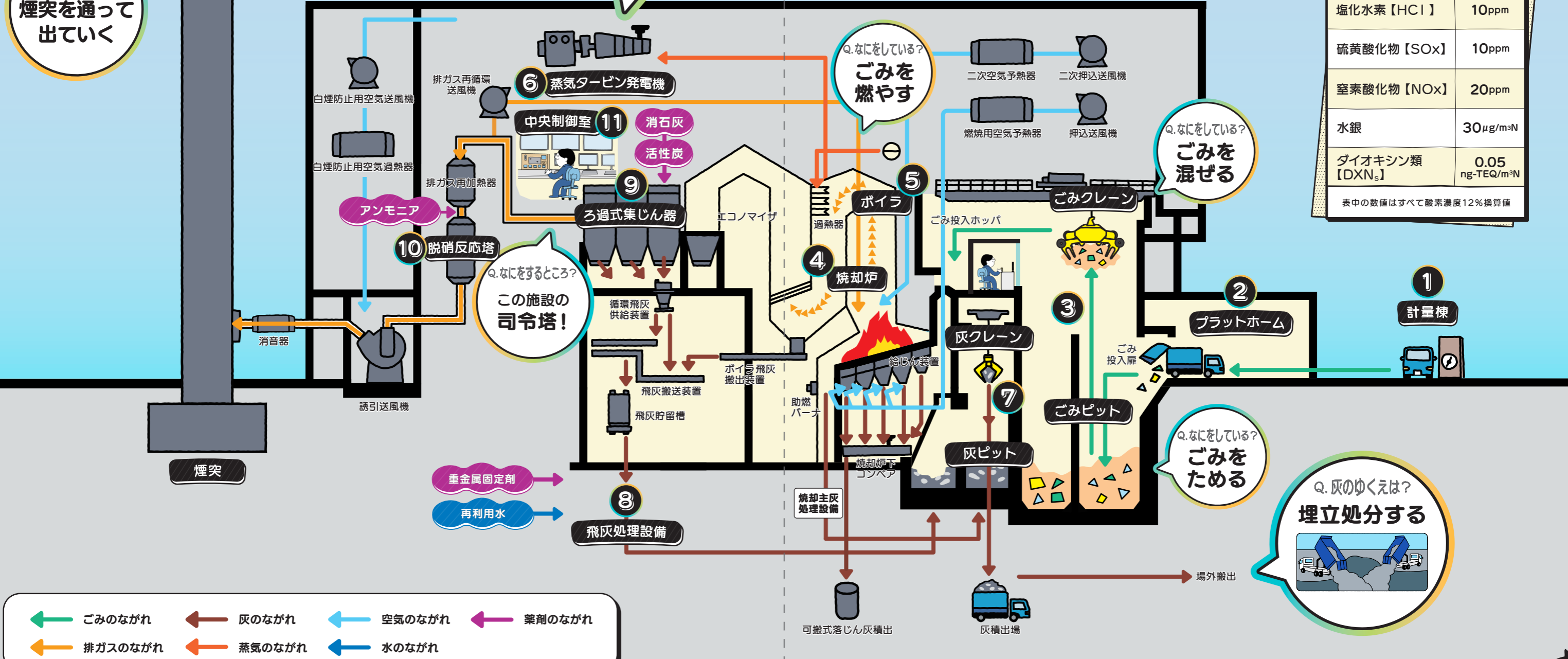
Q. なにをするところ？
この施設の司令塔！

Q. なにをしている？
ごみを燃やす

Q. なにをしている？
ごみを混ぜる

Q. なにをしている？
ごみをためる

Q. 灰のゆくえは？
埋立処分する



- ← ごみのながれ
- ← 灰のながれ
- ← 空気のながれ
- ← 薬剤のながれ
- ← 排ガスのながれ
- ← 蒸気のながれ
- ← 水のながれ

ごみを処理している 主な設備



1

計量機

搬入されたごみの重量を計測しコンピュータで分類・集計することで、日々の処理量を正確に管理しています。



2

プラットフォーム

搬入されたごみをごみピットに投入する場所です。投入扉は5箇所あり、効率的な受け入れと処理を可能にしています。



3

ごみピット

ごみを溜めておく場所です。容量は4,812 m³あります。

ごみクレーン

ごみの移動・積み替え・攪拌を行い、ごみ投入ホッパへ投入します。



かきはん攪拌：ごみを安定して燃えるようにするための混ぜ合わせ

11

中央制御室

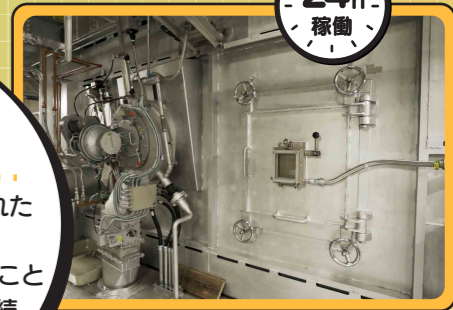
各機器の運転および監視、制御を行い焼却処理を安全に実施しています。各機器をコントロールすることで、ごみを安心して処理できる環境を維持しています。



4

焼却炉

ごみ投入ホッパへ投入されたごみを燃やします。1日168tのごみを燃やすことができます。24時間連続して運転しています。



5

ボイラ

ごみを燃やした時に出る高温の排ガスから熱を回収して蒸気を作ります。ボイラは焼却炉と一体型です。



6

蒸気タービン発電機

ごみ焼却時に発生する熱エネルギーを回収し、最大4,870kWの発電を行うことができます。発電した電力は、本施設全体の運転に利用し、余った電力は電力会社に売却しています。



7

灰ピット

焼却炉から出た焼却灰は灰ピットへ搬送されます。

灰クレーン

ピット内の焼却灰や飛灰処理物を積み替えし、トラックに積み込みます。



8

飛灰処理設備

排ガスと共に飛散した飛灰を回収し、薬剤で無害化処理を行ったあと、貯留ピットへ搬送します。環境への影響を最小限に抑えた安全な処理を行っています。



9

ろ過式集じん器

ろ布という特殊なフィルタで、排ガスに含まれる有害物質やばいじんを取り除き、環境への影響を抑えます。



10

脱硝反応塔

焼却により発生する窒素酸化物は、アンモニアとの化学反応により窒素と水に分解し、無害化され安全に処理しています。



Security

安心で安全な
焼却処理

Technology

環境を考慮した
最新設備

Recycle

資源の
再生利用